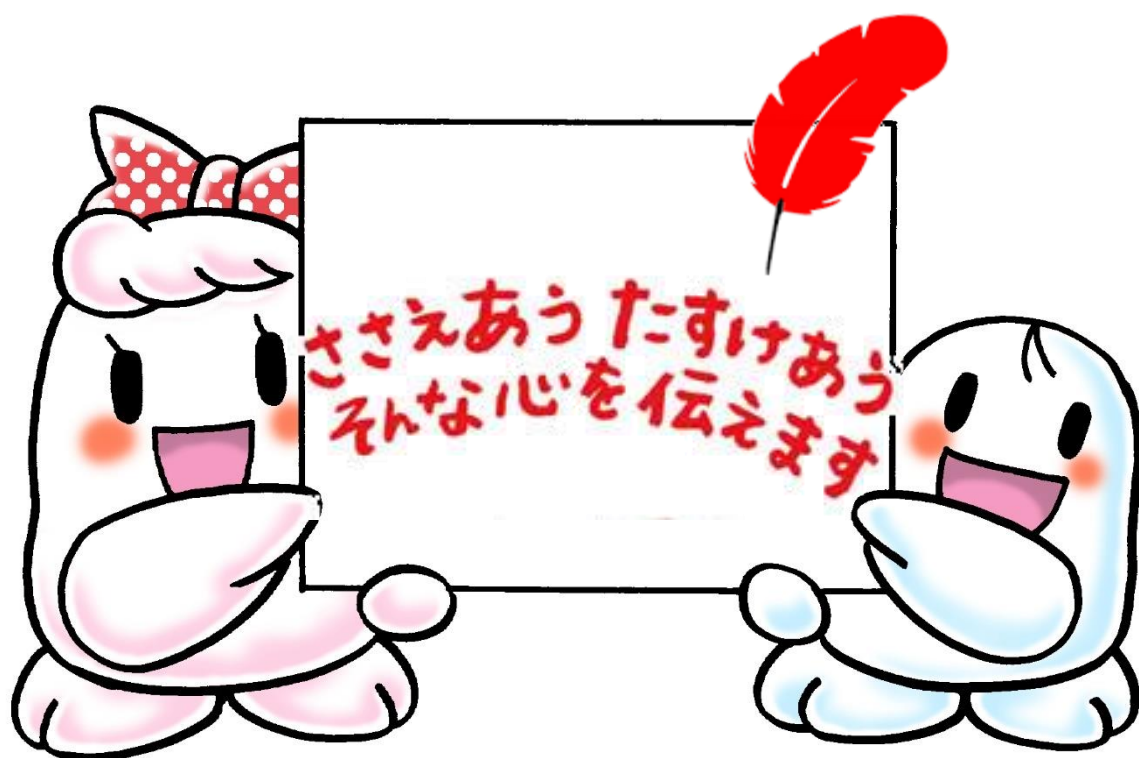


令和 4 年度（令和 3 年度募金）

隠岐の島町共同募金委員会

助成事業報告書



令和 5 年 6 月

島根県共同募金会 隠岐の島町共同募金委員会

住みよい地域づくり推進プロジェクト助成 事業一覧

実施団体	助成区分	団体名	事業名	頁
隠岐の島町共同募金委員会	安心づくり助成	① 西郷中町町内会連合会	お出かけベンチ整備事業・自主防災事業	1
		② 岬町区	向う三軒両隣事業	2
		③ 有木ほたる村	冬のほたる（イルミネーション点灯）	3
		④ 布施イルミネーション実行委員会	布施イルミネーション&点灯式（10周年）	4
		⑤ 山田どっこい会	地域ふれあい推進事業	5
		⑥ いその香	配食を通じたつながり活動	6
		⑦ 青年学級交流会	青年学級交流事業	7
		⑧ 島根県断酒新生会 隠岐支部	酒害者支援・予防事業	8
		⑨ 隠岐地区里母のつどい	勉強会・交流会	9
		⑩ 緩和ケアサロン隠岐たんぽぽ	がん体験者とその家族の交流	10
	交流づくり助成			11
	ふれあいサロン助成			12
	社会福祉協議会助成			13

※報告書内 自己評価・・・事業を実施した団体の自己評価

【目標以上の成果 / 目標どおりの成果 / 目標どおりの成果を得られなかった】

団 体 名	① 西郷中町町内会連合会	事 業 名	お出かけベンチ整備事業 自主防災事業
実 施 内 容	実施期間：令和4年5月～令和5年3月 場 所：中町地区内 対 象 者：中町地区住人、事業所 内 容： ① ベンチ整備事業 地区内2ヶ所にベンチを設置（1月11日） ② 自主防災事業（年2回） 前期は、豪雨による土砂災害や越水を想定した避難訓練を実施（参加者125名） 後期は、火災が起きた際、迅速、的確な消火活動ができるよう放水訓練を実施（参加者55名）		
実施して 良かった点 や課題点	ベンチの整備では高齢者の皆さんが安心して出かけられると大変好評の声をいただいている。 防災訓練を通して、子どもから大人までのつながりが生まれ、避難や消火作業の手順の確認することができた。		助成額
			50,000 円
			延べ参加者数
ありがとう メッセージ	日常と災害に備える活動を続けることが出来ました。支援いただき、ありがとうございました。		180 名
			自己評価
			目標どおりの 成果



▲防災訓練の様子



▲設置したベンチ

団 体 名	② 岬町区	事 業 名	向う三軒両隣事業
実 施 内 容	実施期間：令和4年4月～令和5年3月 場 所：岬町区内 対 象 者：岬町区民 内 容： ① 声掛け運動の実施 評議員や小組長は、独居高齢者や高齢者世帯の生活状態や健康状態、通院状態などの声掛け運動を実施した。 ② 地区美化活動 4月：「環境整備草刈り作業」／建設課より委託 5月：「春の一斉清掃作業」／環境課の全町民参加作業 7月：「盆前クリーン作戦」／区の美化活動 9月：「アジサイ剪定作業」／区の植栽作業（各100名程度参加） ③「広報みさき」の発行 年4回「広報みさき」の発行し、区民や福祉施設等に配布した。19年の実績を重ねている。		
実施して 良かった点 や課題点	岬町区は比較的若い世代の転入者も多く、子どもも多い地区である。「向う三軒両隣」のテーマを実行するためには、楽しい交流の場を創造するための活動や区民同士が気軽につながり合う活動が必要である。コロナ禍で予定していた活動を中止せざるをえないのは実に残念だった。		助成額
			50,000 円
			延べ参加者数
			約 500 名
ありがとう メッセージ	毎年、助成を頂き多くの事業が続けられてきました。区民、町民の安全・安心を心掛けて活動を行っていきます。有難うございます。		自己評価
			目標通りの成果を得られなかった



▲地区美化活動の様子

団 体 名	③ 有木ほたる村	事 業 名	冬のほたる（イルミネーション点灯）
実 施 内 容	実施期間：令和4年12月1日～令和5年1月7日 場 所：有木地区内 対 象 者：有木地区住民 内 容： ① イルミネーション装飾の協力依頼 有木地区住民に声掛けし、自宅・庭等にイルミネーションを飾ってもらう（56軒） ② 見守り・声掛け 高齢者のみのお宅・独居の高齢者のお宅等にイルミネーションの取り付け・片付けの手伝い（9軒）		
実施して良かった点や課題点	・飾る方、地区全体が楽しく元気になる。 ・そして、見に来てくださる方も楽しく元気になる。 ・見てもらえることで、更に楽しく元気になる。		助成額
			50,000 円
			延べ参加者数
ありがとうメッセージ	参加者からは、高齢で人と話すことも少なく、これといった楽しみもないのに声掛けしてもらえて、“まだ地域の一人なんだ”との再確認ができたとの声を頂きました。 助成をいただき、ありがとうございました。		自己評価
			目標以上の成果



▲地区内に装飾したイルミネーション



▲高齢者宅見守り・声掛け活動の様子

団 体 名	④ 布施イルミネーション実行委員会	事 業 名	布施イルミネーション&点灯式 (10 周年)
実 施 内 容	実施期間：令和 4 年 12 月 10 日～令和 5 年 1 月 15 日 場 所：布施公民館及び布施町民運動場 対 象 者：布施 3 地区住民（布施・飯美・卯敷） 内 容： ① イベント周知・イルミ準備（11 月中旬から 12 月上旬） ポスター、回覧等で告知、ハンドベル隊練習開始、イルミ発注 ② 点灯式（12 月 10 日） 【点灯式準備】大人／イルミ設置、最終チェック 子ども／イルミ手伝い、べっこうあめ作り 【点灯式】 スープ、豚汁炊き出し、有志による太鼓演奏でイルミー斉点灯、有志によるミニコンサート（ピアノ、ハンドベル、子どもたちと合唱）、記念撮影 ※イルミネーションは 1 月 15 日まで点灯。（クリスマス、大晦日、元旦は朝まで） ③ 撤去・片付け（1 月 15 日）		
実施して 良かった点 や課題点	ふるさとを盛り上げたいという想いでつながった協力者も増え、積極的に関わりを持ち始めている。今回初めて企画した太鼓演奏からの一斉点灯は、来場者に変えていただいた。また点灯式には地区外からも中学生がたくさん見に来てくれていたので、子ども達にも喜んで貰える場が作れたことが嬉しかった。 ミニコンサートも地域の女性同士がつながる貴重な機会となり、今後もぜひ続けたい。また、地域の小学生も大人と一緒にイルミを飾ったり、ハンドベル演奏に挑戦したりと大活躍だった。 今後さらに見に来てくれた人たちに喜んでもらえるよう工夫したい。		助成額
			50,000 円
ありがとう メッセージ	この助成金のおかげで、毎年新しいオブジェを制作・補修を行い、楽しみにしてくれている皆さんの期待に応えられるよう、継続して活動できている。地域活性に加え、地域の中での異世代交流、若い世代の人材育成の役割も果たしつつ、地域の方々協力して下さった共同募金を地域のために還元していきたい。		延べ参加者数
			約 90 名
			自己評価
			目標以上の 成果



▲点灯式（ミニコンサート）の様子



▲手作りのイルミネーション

団 体 名	⑤ 山田どっこい会	事 業 名	地域ふれあい推進事業
実 施 内 容	実施期間：令和４年４月～令和５年３月 場 所：山田地区内等 対 象 者：山田地区住民 内 容： ① 毎月誕生日を迎える高齢者及び高校生までの子どもたちに、どっこい会会長と区長が自宅訪問をし、メッセージカードを添え、お祝いの花束を贈る活動を行った（32名）。 ② 毎年８月に異世代交流事業として計画していた夏祭りが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止となった。郷土発見事業として１１月にジオパーク巡り及び役場庁舎内の視察を行った。（21名）。 ③ １０月にポーランド出身の国際交流員の方を講師に迎え、母国の伝統文化や地理についての講義を受けた後、講師の指導の下ポーランドの家庭料理や伝統文化である切り絵の作成を行った（12名）。		
実施して 良かった点 や課題点	コロナ禍のため、計画通りに事業を実施することが出来なかったが、代替事業により実施できたことは良かった。		助成額
			50,000 円
			延べ参加者数
ありがとう メッセージ	共同募金にご協力いただいた皆様方のおかげで、今年度も事業を行うことができました。心より感謝申し上げます。		65 名
			自己評価
			目標どおりの成果



▲誕生月の花束プレゼント活動



▲郷土発見事業

団 体 名	⑥ いその香	事 業 名	津戸区内配食を通じたつながり活動
実 施 内 容	実施期間：令和４年６月～令和５年３月（７～８月、１月～２月は都合により配食は休み） 場 所：代表者所有の作業場、津戸区内 対 象 者：主に高齢者で食事の準備が困難で配食を希望される方（津戸区を中心とする都万地区内） 内 容： ① 月２～３回の頻度で、団体スタッフ、地区ボランティアで手作り弁当を配布 ② 弁当配布にあわせた声かけ運動 延べ１５回 ※物価の高騰に伴い弁当料金の見直しを行い１個５００円で提供した。津戸区外の方からも多くの配食希望があり、引き続き都万地区内を範囲として活動を行うことができた。		
実施して良かった点や課題点	約３年活動を継続することができ、地域にも定着した活動になってきました。毎回、皆さんが弁当を心待ちにして喜んでくださるので、団体の私達も元気をいただき、とても励みになっています。 物価の高騰により影響を受けておりますが、工夫を凝らしながら活動を続けていきたいと思っています。		助成額
			50,000 円
			延べ参加者数
			357 名
ありがとうメッセージ	配食を通じて、地域の方々とのつながりがより深めることができ、たくさんの方々に喜んでいただきました。 共同募金にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。		自己評価
			目標どおりの成果



▲弁当作りの様子



▲配食するお弁当

団 体 名	⑦ 青年学級交流会	事 業 名	青年学級交流事業
実 施 内 容	実施期間：令和4年9月10日 場 所：みんなの作業所 対 象 者：みんなの作業所と仁万の里の利用者、仁万の里就労支援事業の利用者及び在宅の知的障がい者） 内 容： 今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、みんなの作業所と仁万の里をオンラインで繋ぎ、参加者と職員と一緒に交流を図った。チームに別れ、イントロクイズ・ジェスチャーゲーム・答えがおなじでいいよ、ダメよの3ゲームを行い、得点を競った。ジェスチャーゲームでは利用者1名がジェスチャーマンとして登場し、みなさん動きに見入って答えを考えている様子が伺えた。答えがおなじでいいよ、ダメよの問題には、「各々の施設を代表する製品といえバ？」など参加者に分かりやすく答えやすいよう行い、盛り上がりをみせた。オンライン活動終了後には等施設利用者・職員、在宅の参加者のみ（計70名）で食事会を行い交流を図った。		
実施して良かった点や課題点	ゲーム内容を工夫し、ユニークにしたことで盛り上がりをみせ参加者のみなさんに楽しんで頂けた。在宅の参加者の方には“この交流会を毎年楽しみにしている”との声も聞き嬉しく思った。この交流事業は参加者も多くオンラインだと一人一人の顔まで映し出すことも難しかったり、パソコンの台数等限られ不便さを感じた。	助成額	
		50,000 円	
		延べ参加者数	110 名
ありがとうメッセージ	終息のみえない新型コロナウイルスまん延により交流活動の場や余暇活動など自粛が続く中、今年度も助成して頂き、会員さんたちの笑顔溢れる活動及び交流会を行うことが出来ました。共同募金にご協力いただいた皆様のおかげです。ありがとうございました。	自己評価	
		目標どおりの成果	



▲オンライン交流会の様子

団 体 名	⑧ 島根県断酒新生会 隠岐支部	事 業 名	酒害者支援・予防事業
実 施 内 容	実施期間：令和4年4月～令和5年3月 場所：西郷地区（隠岐島文化会館、障がい者支援施設太陽）、 都万地区（中里集会所）、五箇地区（役場五箇支所） 対 象 者：酒害者、家族 内 容： ① 断酒例会 開催回数は月5回、年間60回実施。 会場は、各地区の定例の場所で開催した。保健所、役場の保健師、民生委員、島根大学学生、施設職員、断酒会員、家族等が参加。 ②保健所所管の「酒害相談」 年4回の開催計画があったが、島前、島後地区共に申込がなく、中止となった。 ③保健所所管の「アルコール・たばこ部会」 断酒会会員1名参加した。 ④保健所所管の「アルコール健康障害対策連絡会」 1回目は、隠岐病院であり医療の参加があった。現在約5名の方が入退院を繰り返しおられる情報があり、以後その中の1名の方の家庭訪問に保健所保健師2名も同行した。1時間の訪問中玄関で立ったままの訪問を行い、厳しい家庭環境や病状を深く考えさせられた。 ⑤社会貢献活動 例会を実施している中里集会所に、春・秋2回プランターに花を植えさせていただき、随時手入れを行った。 ⑥研修会等の参加 6月：研修（益田市、松江市）、11月：研修（出雲市）、2月：研修（大田市）、他年2回家族会に合計6回参加した。 ⑦調理実習を通じた生活機能訓練 感染症に配慮しながら、1回実施した。		
実施して 良かった点 や課題点	・会員1名、2名のオブザーバー参加の方が1年間完全断酒することができた。 ・太陽での例会は、参加者が多く、支援者の方の情報交換の場になっている。 ・他のオブザーバー2名の方の参加があったが、断酒につながないため、今後も案内表を送り、電話連絡等を行っていく。 ・オブザーバーの方に会員になるよう進めるが、入会につながらない。	助成額	50,000 円
		延べ参加者数	247 名
		自己評価	目標どおりの成果
ありがとう メッセージ	今年も新型コロナウイルス感染症の影響で、大変でしたが、島内の例会は実施することができました。県内で行われた各種研修会にも参加できるようになりました。頂いた助成金で例会会場の利用料金等の活動に使わせていただきました。ありがとうございました。		



▲例会の様子



▲社会貢献活動の様子

団 体 名	⑨ 隠岐地区里母のつどい	事 業 名	勉強会・交流会
実 施 内 容	実施期間：令和4年4月～令和5年3月 場 所：関係者個人宅 対 象 者：会員の里親家庭と会員でない里親家庭（里親とその里子） 内 容： ① お話会 講師の方を招いたお話会では、親と子の関わりの経験者であるプロの方からの目線で話して頂き、参加者のお母さん方からも日々の悩みを出し合いました。 ② 交流会 木工でおもちゃ作りを行ったり、クッキングでは、子どもたちと手軽にできる食事作りをして楽しんでもらった。 ③ 勉強会と相談会 2回実施することができた。		
実施して 良かった点 や課題点	お母さん方の日頃の悩みなど活発に意見交換ができた。		助成額
			50,000 円
			延べ参加者数
			21 名
ありがとう メッセージ	里親たちの心の拠りどころとなる会が開け、里子たちの良い経験の場となったことに感謝申し上げます。		自己評価
			目標以上の 成果



▲交流会の様子

団 体 名	⑩ 緩和ケアサロン隠岐たんぽぽ	事業名	がん体験者とその家族の交流
実施内容	実施期間：令和4年11月5日 場 所：隠岐の島町役場 対 象 者：どなたでも 内 容： 自治医科大学附属病院大澤英之先生による講演会を実施 「がん診療における最近の話題」（消化器がん、乳がんを中心に）		
実施して良かった点や課題点	医療関係（医師、看護師等）の方たちの参加もあり、そしてがん体験者も多く、最近のがん治療の話が聞けて今後の病気との共有の仕方、生き方を考える機会となりました。	助成額	50,000 円
		延べ参加者数	65 名
		自己評価	目標以上の成果
ありがとうメッセージ	当団体創立15周年の記念講演会でしたが、参加して下さった方たちの感想も「良かった」の意見が多くありました。 共同募金にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。		

緩和ケアサロン隠岐たんぽぽ 15周年記念講演会

日時

2022年11月5日(土)

時間

15時15分～16時50分
(受付:15時～)

場所

隠岐の島町役場 町民ホール

講演会内容

がん診療における最近の話題
～消化器がん・乳がんを中心に～

講師:自治医科大学附属病院
腫瘍センター臨床腫瘍部
准教授
大澤英之先生

無料

問い合わせ先

隠岐広域連合立隠岐病院 地域連携室
 連絡先:2-1356
主催:緩和ケアサロン隠岐たんぽぽ
共催:隠岐の島町・隠岐広域連合立隠岐病院

▲講演会開催チラシ

実 施 内 容	高齢者・障がい者を対象とした敬老会等の“集い”、又は手作り料理の配食等の活動を対象に助成。 【実施団体】 19 団体（自治会区：17 団体、公民館分館：2 団体） 【活動内容】 ① 敬老会：2 団体 ② 手作り弁当の配布：1 団体 ③ 弁当折り、記念品等の配付（コロナ感染症等の影響により変更）：16 団体				
評 価	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="323 680 1217 734">・令和 4 年度は、感染症の影響で申請団体が減少したが、多くの団体が代替事業の弁当折りや記念品等の配布に切り替え事業を実施することができた。</td><td data-bbox="1217 680 1463 734">助成額</td></tr> <tr> <td></td><td data-bbox="1217 734 1463 869">547,500 円</td></tr> </table>	・令和 4 年度は、感染症の影響で申請団体が減少したが、多くの団体が代替事業の弁当折りや記念品等の配布に切り替え事業を実施することができた。	助成額		547,500 円
・令和 4 年度は、感染症の影響で申請団体が減少したが、多くの団体が代替事業の弁当折りや記念品等の配布に切り替え事業を実施することができた。	助成額				
	547,500 円				
ありがとうメッセージ	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="323 869 1217 922">助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋）</td><td data-bbox="1217 869 1463 922">延べ助成数</td></tr> <tr> <td data-bbox="323 922 1217 1449"> ・新型コロナウイルス感染防止のため本年も敬老会取りやめ、記念品の配布をさせていただきました。笑顔で記念品を受け取る皆様の様子に主催者として大変うれしく思いました。共同募金にご協力いただきました町民の皆様、本当にありがとうございました。 ・弁当配食の際、対象者に共同募金から助成を受けていることを説明し、より理解が深まったように思います。お世話になり、ありがとうございました。 </td><td data-bbox="1217 922 1463 1449">19 団体／1,049 名</td></tr> </table>	助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋）	延べ助成数	・新型コロナウイルス感染防止のため本年も敬老会取りやめ、記念品の配布をさせていただきました。笑顔で記念品を受け取る皆様の様子に主催者として大変うれしく思いました。共同募金にご協力いただきました町民の皆様、本当にありがとうございました。 ・弁当配食の際、対象者に共同募金から助成を受けていることを説明し、より理解が深まったように思います。お世話になり、ありがとうございました。	19 団体／1,049 名
助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋）	延べ助成数				
・新型コロナウイルス感染防止のため本年も敬老会取りやめ、記念品の配布をさせていただきました。笑顔で記念品を受け取る皆様の様子に主催者として大変うれしく思いました。共同募金にご協力いただきました町民の皆様、本当にありがとうございました。 ・弁当配食の際、対象者に共同募金から助成を受けていることを説明し、より理解が深まったように思います。お世話になり、ありがとうございました。	19 団体／1,049 名				



▲蔵見集落（田植え祭り 敬老会）



▲有木区（記念品の配布）

実 施 内 容	身近な地域で実施される高齢者や障がい者、子育て中の親などの当事者と、ボランティアなどが協働で企画・運営するふれあいサロン活動に助成。 【実施団体】 38 団体（高齢者サロン：37 団体、子育てサロン：1 団体） 【活動内容】 ① 年間開催数：478 回 ② 各サロンによって毎月実施する活動は様々 主な内容は、茶話会や会食、健康体操、バスハイク、手芸、各種講座等 ※コロナ感染症等の影響で予定していた月に開催できなかった場合は、戸別訪問、電話、手紙等で会員間のつながりを維持した。	
評 価	・各団体がコロナウイルスと上手く付き合いながら、サロンの継続や会員間のつながりを維持することができた。 ・コロナ感染症の影響で、活動拠点の広さ、参加人数等の都合により、集合形式の活動を再開できないサロンが見受けられる。	助成額
		1,140,000 円
ありがとう メッセージ	助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋） ・月に一回みんなに会い、野菜作り・料理・病気等の情報交換ができ、楽しんでいます。これも助成金のおかげです。ありがとうございます。 ・共同募金から助成金をいただき、ありがとうございました。募金にご協力いただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、地域に必要とされるサロン活動に有効に活用させていただきます。	延べ助成数
		38 団体 5,488 名



▲朝日ヶ丘よらあや会（レクリエーション）



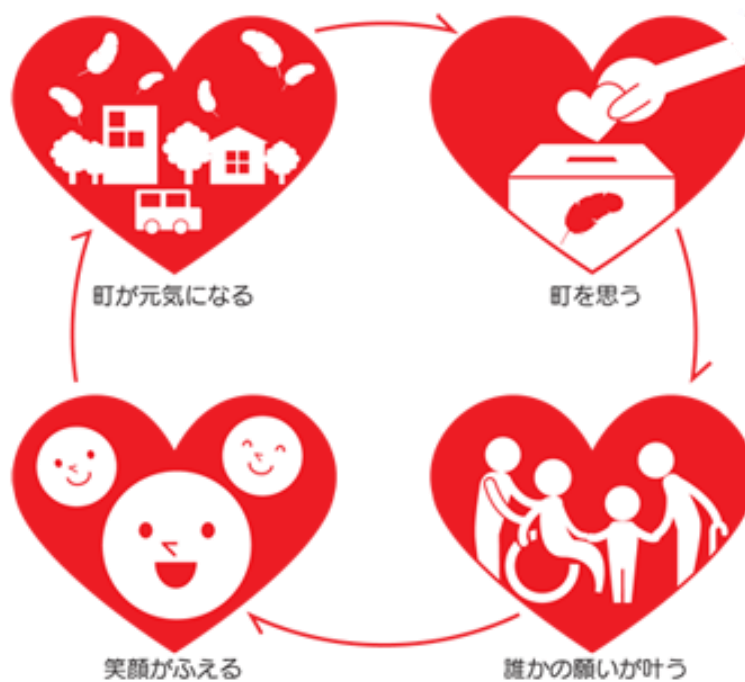
▲明老会（健康体操）

実 施 内 容	① お達者落語会の開催 講 師：春雨や落雷師匠（安部正之氏） 開催日：令和4年6月12日（日）13:30～15:15 会 場：隠岐島文化会館大ホール 参加者：250名		
	② 自治会区向けお知らせ便の発行及び配布 自治会区向けに、町内で実施されている見守り、生活支援、つながり、防災活動等の住みよい地域づくりを推進する活動の紹介や本会が主催する研修等の周知、共同募金助成等の情報を掲載した文書を作成し、自治会等に配布した。（本会ホームページにおいても公開） 町内で取り組まれる地域福祉活動事例を周知し、感染症の影響が続く自治会区での地域活動等の支援を行った。		
	発行先	時期	送付物
	自治会区等 (91自治会区)	2月	・自治会区向けお知らせ便(第3号) ・災害ボランティア学びブック
評 価	前回好評だった「お達者落語会」を約4年ぶりに開催し、今回も松江市在住で医師免許を持つ真打の落語家である春雨や落雷師匠をお迎えした。江戸古典落語と楽しく分かりやすい医学講話による落語会で、面白おかしく、そして分かりやすくお話いただき、会場中があたたかい笑顔に包まれ、健康福祉の増進に繋がった。 また、「自治会区向けお知らせ便」の発行を通じ、町内で取り組まれる地域福祉活動事例を周知し、各自治会区等の活動に役立てていただく機会を作ることができた。		
	助成額 54,874円		
ありがとう メッセージ	皆さまから頂いた募金を有効に活用させて頂き、住みよい地域づくりを推進することが出来ました。ありがとうございました。		



▲お達者落語会の様子

ささえあう たすけあう
そんな心を伝えよう



〒685-0027 島根県隠岐郡隠岐の島町原田 396 番地
(隠岐の島町社会福祉センター)

島根県共同募金会 隠岐の島町共同募金委員会